



# 第65回 全日本バレーボール 高等学校選手権大会

## 香川県代表決定戦

【決勝】 平成24年11月23日（金・祝） 《男子》

善通寺市民体育館

<u>坂出工業高校</u>	0	{	14 — 25	}	3	<u>高松工芸高校</u>
			22 — 25			
			19 — 25			
			—			
			—			

9年連続16回目

主審： 藤田 航

副審： 秋山 秀樹

### 戦評

第1セット、試合序盤は、両チームとも多彩な攻撃を織り交ぜた激しい打ち合いになった。坂出工業は全員バレーを、一方の高松工芸は井上、藤田、赤松を中心に攻撃を組み立てた。しかし、地力に勝る高松工芸の矢野、井上、赤松が次々ブロックポイントを奪い、坂出工業の攻撃陣を封じ込めた。最後は藤田のスパイクで食い差がる坂出工業を25-14で降した。

第2セットも、試合序盤は両チームの点の取り合いが10-10まで続いた。中盤で坂出工業が14-12から宮川のサービスエースで15-12と流れを掴んだかにみえたが、高松工芸が連続ポイントをあげ、16-16と同点に追いついた。試合は20-20まで一進一退の攻防が続いたが、終盤で坂出工業に手痛いミスが出てしまい、流れをつかみ切れなかった。最後は高松工芸井上のスパイクで25-22と高松工芸が2セット連取した。

後がなくなった坂出工業だが、第3セットも開始から流れを呼び戻すことが出来ず、高松工芸井上のサービスエースが決まるなど10-5と序盤からリードを許した。中盤に入って坂出工業も粘りを見せたが、高松工芸の赤松、井上、藤田の強烈なスパイクが次々と決まり20-13と点差が開いた。しかし、坂出工業はあきらめずに食い下がり、橋本のクイックやブロックポイント、さらに富野のサービスエースで高松工芸を22-19まで追い込んだが、最後はレシーブを乱され25-19でゲームセットとなった。

作成者（ 野 嶋 隆 行 ）



# 第65回 全日本バレーボール 高等学校選手権大会

## 香川県代表決定戦

【決勝】 平成24年11月23日（金・祝） 《女子》

善通寺市民体育館

香川西高校	0	{	19 — 25	}	3	高松商業高校
			22 — 25			
			9 — 25			
			—			
			—			

4年連続6回目

主審：長尾 宗之

副審：高橋 宏行

### 戦評

第1セット、序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げ、両者譲らず中盤を迎える。高松商業は3年生管・前田、1年生エース権藤を、香川西はレフト秋山センター池田を軸として、それぞれ多彩な攻撃を組み立てていく。11-9で高松商業リードの場面で、1年生権藤がブロックを止めるなど、徐々に香川西高校のリズムを崩し、点差を広げる。対する香川西は秋山、池田がスパイクを決め、反撃に出るが流れは変わらない。その後高松商業リードのまま終盤へと向かい、25-19でセットを終えた。

第2セットも序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げ、両者譲らず中盤を迎える。高松商業は香川西の繋ぎのミスをきっかけに9-6とリードする。しかし、香川西エース秋山の強力なスパイクや池田ブロックなどの活躍により16-13と再び逆転する。その後高松商業は18-17から渋谷の連続サービスエースなどで逆転に成功し、流れをつかむと最後は25-22で押し切り第2セットも連取した。

2セット連取で勢いに乗る高松商業は権藤のサーブから2連続得点を決めるなど、5-1と序盤から大きくリードする。勢いに乗った高松商業は2年生セッター植松の多彩なトスワークで翻弄し、さらにリードを15-6と広げる。香川西も秋山を中心に追い上げるが高松商業の勢いを止めることができず、最後は高松商業が25-9でセットを奪取し勝利を収めた

作成者（ 窪井 大登 ）